

九段坂病院を受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

研究課題名	睡眠薬による転倒リスクの検討 後ろ向き研究
当院の研究責任者 (所属)	石橋 由基 (内科)
他の研究機関および 各施設の研究責任者	
本研究の目的	古典的睡眠薬である、ベンゾジアゼピン、非ベンゾジアゼピンにより転倒リスクが上昇することが知られており、新規睡眠薬のロゼレム（ラメルテオン）やベルソムラ（スボレキサント）では明らかになっていない。特に転倒は骨折やそれを通じた ADL の低下につながり、高齢者医療を行う上での重要な問題である。特に一部の診療ガイドライン上は、新規睡眠薬は転倒リスクが低いとの指摘も見られるが、製薬会社による臨床研究以外では、それらの報告は未だ少ない。また、日本で処方が多い抑肝散に関しても転倒リスクに関する研究は臨床試験でも行われていない。特に日本の高齢者社会を鑑みるに、今後の転倒対策は重要な問題であり、新規睡眠薬や漢方薬による転倒予防の報告は有用性が高いと考えられる。今回は新規睡眠薬、抑肝散がどの程度転倒リスクを下げるのか検討するために、後ろ向きにて院内にてデータ収集を行い、研究を施行する。
調査データ 該当期間	2016年1月から2019年3月までの情報を調査対象とする
研究の方法 (使用する試料等)	●対象となる患者さま 上記期間内に当院に入院された患者さま。 ●利用する情報 電子カルテに記載のある診療記録、検査データを利用する
試料/情報の 他の研究機関への提供 および提供方法	他の機関への試料・情報の提供はない
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません
お問い合わせ先	電話：九段坂病院 代表 03-3262-9191 担当者：九段坂病院 石橋由基・西谷里枝・佐々部正孝
備考	